

## 2 物流コストを下げたい

**Q.** 運送費など物流コストを下げたいと思っているが、どのようにすればよいのか？

**要旨** 多頻度小口配送の増加による積載効率の低下、ドライバー不足、燃料の高騰等により、物流コストが増加する傾向にあります。そのため、単純な価格競争ではコスト低減に限界があるため、合理的にコストを削減できる方策を検討して実行することが必要です。

### 解説

#### 1. 物流コスト構造

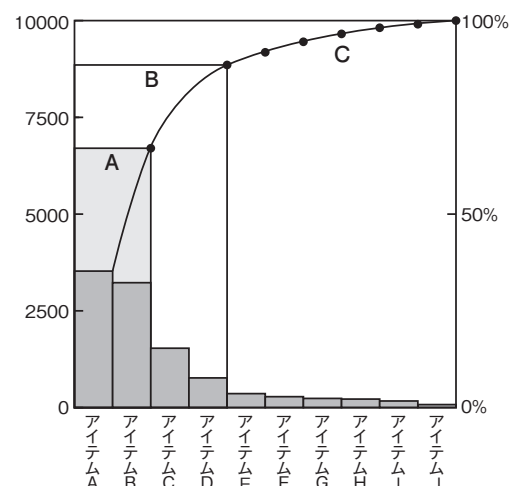
物流コストは大きく分けて、①輸送コスト、②物流作業コスト、③在庫保管コストがあります。①輸送コストは、拠点間をトラック等で輸送する際にかかるコストです。②物流作業コストは、工場や物流拠点で物流に係る作業をするためのコストです。ピッキング（製品を集める）作業、梱包作業、受発注事務等がこれにあたります。③在庫保管コストは、製品在庫を保管するためのコストです。物流倉庫の維持費用（減価償却費、光熱費等）の他に、資産を在庫として持つことによるキャッシュフローの減少分があります。これは、「在庫の取得原価×コスト率」で計算します。

#### 2. 物流コスト削減の方策

物流コスト削減の方策はいろいろありますが、着手しやすい順番は、①物流作業の効率化→②物流拠点の見直し→③共同配送です。①物流作業の効率化は、出荷頻度でABC分析（製品の重要度の重み付けをすること）を行い、製品の置き場所や管理方法を変えます。また不動態在庫を見えるようにして処分すると保管場所にスペースができて、作業の効率化が進みます。

②物流拠点の見直しは、拠点数を集約す

ると、拠点を維持するためにかかるコストを削減できますが、輸送費が増加することもあります。新たな投資が必要となる方策のため、輸送コスト、在庫コストのシミュレーションによる、慎重な判断が必要です。③共同配送は、自社だけで物流コストを削減することには限界があるため、仕入先や顧客、同業者と共同して配送することを検討します。共同配送が実現すると積載効率が改善しますが、各社の調整に手間がかかります。多くの仕入先を抱える企業では、仕入れする企業が仕入先を巡回して製品を集荷する方法（ミルクラン）をとっている場合もあります。上記の他に、自社で行っている物流業務を専門の企業（「3PL」）にアウトソーシングする方法もあります。



# 物流コスト低減のための方法

## ＜ご提案のポイント＞

- ・合理的な物流コストの削減方法は、まず、物流フローと関係する物流コストの構造を把握してください。
- ・物流業務のうち、合理化の可能性が大きい業務を選定して、コスト低減の方向性を設定します。
- ・物流コストの低減施策について、自社だけでなく仕入先や顧客との関係性を考慮しながら検討して実行します。

## 1. 物流フローと物流コスト構造の把握

まずは、企業が関係する物流フローと物流コストの構造を把握してください。物流フローとは、モノが流れる場所と順番を整理することです。例えば製造業では、「仕入先工場→部品倉庫→工場→製品倉庫→物流センター→顧客」のようにモノの流れを整理します。物流コスト構造の把握として、物流に係る全てのコストを洗い出します。輸送コスト、物流作業コスト、在庫保管コストなどがあります。可能であれば、費目別に見積りを作成します。また、社内で発生する物流費と、外に支払う物流費とを分けて把握します。

## 2. 物流コスト削減の方向性設定

物流フローと物流コスト構造から、ムダが多く多額のコストがかかっている場所や業務を特定して、コスト削減する優先順位と方向性を設定します。例えば、「仕入先から部品倉庫への配送ルートが多くムダが多いので改善する」というように設定します。

## 3. 物流コスト削減のための方策

物流コスト低減のための具体策を提案します。ここでは代表的な方策を紹介します。

- ①**物流倉庫作業の効率化**：倉庫に在庫してある製品の出荷頻度を調査して、ABCとランクをつけます。出荷頻度が高いA、Bの製品を出荷場の手前に置き、頻度の少ない製品を奥に置くことで、ピッキング作業（製品を集める作業）を効率化します。
- ②**物流拠点の見直し**：物流拠点多いと一般的に納期を短くすることができますが、物流コストが高くなります。顧客への納期や必要在庫と物流コストをシミュレーションして、最適な物流拠点の位置と数を検討します。
- ③**仕入先、顧客との共同配送**：複数の仕入先から資材を購入する場合は、各仕入先が個別にトラックで輸送すると効率が上がりません。対策として、自社でトラックを手配して複数の仕入先を巡回して資材を輸送すれば、トラックの積載率が上がり効率が上がります。このように仕入先、顧客、同業者で協力して効率的な輸送形態を検討することで、全体の輸送コストを削減します。